

第22回八王子市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時	平成26年3月5日（水）10:00～11:40
場 所	八王子労政会館 2階第一会議室
議 題	<p>議事</p> <p>(1) 平成25年度事業報告について</p> <p>(2) 八王子市の公共交通のあり方（案）及び地域交通事業導入ガイドライン</p> <p>(3) はちバスの消費税対応について</p> <p>その他</p>
<p>●議事(1) 平成25年度事業報告について</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小津町と降宿醍醐地区及びバスロケーションシステムの導入（西東京バス株）における事業費・国庫補助金・東京都補助金・八王子市補助金、地元負担金の案について説明した。 <p>【主な意見、質疑】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】 <p>●議事(2) 八王子市の公共交通のあり方（案）及び地域交通事業導入ガイドライン（案）</p> <p>【事務局説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八王子市の公共交通のあり方（案）」について （委員） <ul style="list-style-type: none"> ・資料3-1 P15「2.3 計画の方針」の施策「福祉タクシーの導入を検討する」について、目標①「分かりやすく利便性の高いネットワークの構築を図る」から、目標③「公共交通空白地域を改善し、住民の移手段の確保を図る」に記載位置を修正した方が適切ではないか。 ・「福祉タクシー」（ユニバーサルタクシーorUDタクシーを含む）に記述を変更した方がよいのではないか。 ⇒（事務局） <ul style="list-style-type: none"> ・次回までに事務局で検討する。 ・「地域交通事業導入ガイドライン（案）」について （委員） <ul style="list-style-type: none"> ・資料3-2 P4「3 地域交通事業導入検討の流れとポイント」について、事業者自身が、「事業者の選定」を行うように読み取れるので修正した方がよい。 ⇒（事務局） <ul style="list-style-type: none"> ・次回までに修正する。 （委員） <ul style="list-style-type: none"> ・資料3-2 P8「②STEP4（本格運行）の流れ」で半年間の実績が評価基準を満たさない場合、収支率（乗車率）が20%以上は「実証運行延長」となり、20%以下なら「改善運行実施」という流れになっているが、20%の根拠を明確にした方がよいのではないか。 （会長） <ul style="list-style-type: none"> ・基準を満たせなかった場合、満たせなかった理由や経過をどうとらえるかという観点 	

が必要になる。単年度だと特殊な事情により満たせなかった場合もあり得るので、3年程度で経過をみるのが妥当だと思う。

基準が何故20%かという考え方は整理する必要があると思う。

⇒（事務局）

- ・事務局で整理させていただきたい。

●議事(3) はちバスの消費税対応について

【事務局説明】

- ・平成26年4月から消費税8%が導入されたが、運賃については平成23年に対距離運賃制で上限200円まで値上げしたばかりであること、平成27年10月には消費税10%に引き上げられる予定であることを総合的に判断し、現状のまま据え置くこととする。

【主な意見、質疑】

- ・特になし 【本件については、事務局提案の内容で合意が得られた。】

●報告事項

(1) 小津町地域バス及び醍醐・降宿地区タクシーの乗車状況について

- ・小津町の1月までの平均乗車人数は24.2人 前年度比11.1%減
 - ・醍醐・降宿地区の1月までの平均乗車人数は6.2人 前年度比6.0%増
- 次回、3月末の確定値がでるので、再度報告を行うこととする。

(会長)

- ・小津町のスクールバスとして常に利用している児童数の動向を毎年事務局は把握しているか。スクールバスとしての活用分は児童数が1人2人変わると大きく実績の数字が変わってくる。次回活性化協議会で報告するときはその数字も出してもらおうと状況を判断しやすい。

⇒（事務局）

- ・次回児童数の報告を行う。

(2) はちバスの西南部コースについて

【事務局説明】

- ・コース改正後H25年2月-H26年1月の1日平均乗客数61人/日で 前年度比9.0%増。
- ・車内アンケート結果では、60歳以上の利用が70%以上と多く、コース変更後従来からの利用者が70%だったが新規利用者も約20%おり、ルート・時間変更についての評価も概ね好評だった。
- ・平成22年度にコースの見直しを行い、それから5年が経ち、見直しの時期にきているため、今後検討していきたい。

(会長)

- ・見直しの効果が表れており、増加傾向は好ましいのだが、沿線人口の状況から見ると1日60人レベルの乗客数は低いと思う。コミュニティバスとしても過疎地域ではないのだから、もう少し上を目指すべきではないか。沿線の住民へのアピールも含め利用を伸ばしていくことを考えていく必要があると思う。

・（委員）

はちバスの利用を伸ばしていくためには、時刻がわかりやすいダイヤを作って欲しい。(1つのバス停を1時ちょうどと決めたら毎時間同じ時刻にする等。) 乗りたいの

だが、時間がわからないから乗れないという声がある。生活している上でわかりやすいということは大事なことだ。

道路をはがすことはまずないと思うが、バス路線は見直すことができる。バスがないと暮らしの中で困ってしまう。バス路線の見直しという姿勢をとって、実態をちゃんと見て欲しい。データだけで数字をつくる前に、その背景にどういう利用者がいるかに、頭において調べてきちっと調べて欲しい。

また、バスの利便性を高めるよい例を紹介するが、以前京王バスの乗務員さんが、乗客に沿線の施設（陸上競技場や大学セミナー等）への運賃を知らせして、「小銭をご用意願います」とアナウンスを行った。そうすると、乗客が事前に小銭を用意することができ、バスの定時制も確保でき、他のお客さんもイライラしなくて済むという効果があった。バスの運転手さんを表彰する手立ても欲しい。今後は、鉄道よりバスが動脈になるよう頑張りたい。

・(会長)

いくつか示唆的なことをいただいた。数字の背後にある（バックグラウンドにある）状況を常にみていかななくてはならないと思う。それこそが協議会の中で様々な判断をし、次にすすめていくときの材料になることである。そういうつもりで、見ていただき、また分析する場合にも、そういった背景をきちっと把握していただければと思う。

(3) 事業者からの報告

(西東京バス株)

・バスロケーションシステムの進捗状況について

八王子地域内に8箇所設置を予定している。降雪で遅れているが、7基設置が済んだ。設置場所は【京王八王子駅】1番乗場、【八王子駅北口】10番乗場、【西八王子駅】1～4番乗場、【その他】大学セミナーハウス等2箇所。

西八王子駅1～2番乗場は、はちバスの乗場になっているため、はちバスの表示も行っている。

・バスの乗り方教室について

小学校向けに乗方やお金の支払方法などの教室を行っている。昨年12月に八王子市の70校に依頼し、15校から申し込みがあった。この1～2月に8回実施した。生徒を迎えに行き営業所に連れてくる場合や、バス車両を学校に出向く場合もあった。大変好評で引き続き来年度以降も取り組みを進めていきたい。

(委員)

・乗り方教室については、前例があったのか。今回が初めてなのか。

(西東京バス株)

・全国的にも同様の取り組みが行われているが、昨年は、西東京バス株では創立50周年記念事業の一つとして、鈴木先生にもアドバイスを頂き実施した。

(会長)

・乗り方教室については、ここ7～8年特に地方のバス事業者が先行し、活発になってきている。八王子の近くでは10年くらい前から山梨交通株がバスを学校へ持って行き、出前講座や出前授業という形で広めた。全国的にも乗り方教室は広まりつつあり、そのやり方は、バス事業者やバス協会・国交省運輸支局で行う場合など様々である。おそらくこれからは高齢者や、小さな子を連れてお母さん向けの乗り方教室等が必要になるのではないかとと思う。そういった動きになってきている。

●その他

(委員)

タクシー運転手は、毎朝会社で酒気帯びの検査をしてから点呼を行っている。さらに、運転中事故が発生した場合は、ドライブレコーダーで、どちらの運転が悪かったのか判断が出来るようになっている。車内にもカメラがあり録音もできるので、暴言や暴力も記録出来る。無線が全車両にあるので、全ての警察と連絡がとれ、防犯協力も可能である。そのため最近のタクシーは、車内が安全な交通機関であるということを報告したい。

(会長)

安全面への配慮とか確実に事実確認が出来るドライブレコーダーの設置（があるタクシー）は交通機関として非常に安全安心な利用が出来ると考えられる。

以上